

岩手県金融経済概況（2023年10月）

1. 概況

県内経済は、持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、横這い圏内で推移している。設備投資は、増加している。個人消費は、回復している。住宅投資は、下げ止まっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、均してみれば改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、横這い圏内で推移している。

先行指標である公共工事請負金額（2023年10月）は、2ヵ月連続で前年を下回った（前年比△7.4%）。

設備投資は、増加している。

2023年9月短観（岩手県）における2023年度の設備投資計画は、非製造業では前年度比減少するものの、製造業ではEV関連など長期的な需要拡大を見越した能力増強投資等から前年度を上回り、全産業ベースでも前年度比増加する計画となっている（前年度比+13.7%）。

個人消費は、回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2023年9月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（前年比△1.8%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2023年9月）は、引き続き前年を上回った（同+6.2%）。また、新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2023年10月）は、引き続き前年を上回った（同+4.4%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に回復している。

住宅投資は、下げ止まっている。

新設住宅着工戸数（2023年9月）は、3ヵ月連続で前年を上回った（前年比+4.7%）。内訳をみると、持家（同△11.1%）、分譲（同△69.2%）は前年を下回ったものの、貸家（同+56.8%）は前年を上回った。

3. 生産動向

生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。

鉱工業生産指数（季節調整値：2023年9月）は、4ヵ月連続で前月を下回った（前月比△7.6%）。主な業種の指数をみると、生産用機械などが上昇した一方で、電子部品・デバイス、はん用機械、食料品が低下した。

四半期の動きをみると、2023/7～9月は2期連続で前期比低下した（2023/1～3月：前期比+2.3%、4～6月：同△1.6%、7～9月：同△8.2%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、均してみれば改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2023年9月）は、1.22倍と、4ヵ月振りに前月を下回った（2023年8月：1.23倍）。

雇用者所得（県内合計値：2023年9月）は、常用雇用指数（前年比+2.3%）、名目賃金指数（同+0.9%）とも前年を上回るもとので、2ヵ月振りに前年を上回った（同+3.2%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2023年10月）は、引き続き前年を上回った（前年比+4.0%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2023年10月）は、8件、負債総額2,440百万円となった（前年同月は2件、負債総額121百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2023年9月）をみると、預金、貸出とも前年を上回った。貸出約定平均金利（2023年8月）は横這い圏内で推移している。

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622

<ホームページ>

